

75歳以上と大変厳しい状況である。

問 新規の漁業就業者を育成していく必要があるが、今後どのように推進していくのか。

答 漁業就業者が激減する中で何とか減少を食い止め、漁業を発展させることを目的に平成26年度から新規漁業就業者支援事業を実施している。最長3年間の研修中に年収約3百万円を保証する事業であり、当初は3人の研修生でスタートしたが、研修開始早々に2人がリタイアし、現在は1人の研修生が2年目の研修中である。この度、新たな研修生を受け入れていただけの漁家が見つかったため、28年度の早い時期に研修生の募集を考えている。

新実祥悟（無党派）

問 障害者が安心して暮らせるまちづくりについて

答 地域生活支援拠点等の整備について伺う。相談に応じる機能として、障がい者支援セン



障がい者支援センターが入る福祉センター

ターが、試行的に夜間・休日の緊急時対応の電話相談を実施し、本格運用を検討していく。他の機能も平成29年度までに整備できるように取り組んでいく。

問 児童発達支援センターの整備について伺う。

答 発達に気かりさがある子どもたちの将来の自立した生活につながる支援体制を構築できるように、31年度末までの総合的な支援機能の整備を見据え、基本方針の取りまとめを行い、検討を進めていく。

子どもの貧困対策について

問 県が実施する子どもの貧困調査及び市の今後の取り組みについて伺う。

答 県は12月に調査を実施し、29年4月には集計結果が公表される予定と聞いている。市としては、県の調査結果や国の補助事業の有効活用を視野に入れ、新たな支援策を研究する。

鎌田篤司（自民党市議団）

問 蒲郡みかんの海外販路開拓について

答 蒲郡みかんの輸出に関する取り組みを伺う。

問 蒲郡みかんはこれまで台湾、カナダに輸出している。新たな販路開拓のため、11月に香港で食の商談会を実施する予定である。

答 選挙権年齢の引き下げについて

問 新たに選挙権を得た18歳、19歳の人たちに対

し、どのように啓発活動をしていくのか。

答 7月の参院選の投票率は18歳56・6%、19歳50・3%であった。他自治体の取り組みや費用対効果を勘案し、30代までを含めた若年層に対する啓発活動を考えていきたい。

蒲郡の古墳展について

問 10月末から開催する蒲郡の古墳展の内容は。

答 蒲郡では古墳が71基確認されており、痕跡が残るのは28基である。今回の古墳展では、発掘調査での新たな発見を含め、主な出土品を展示する。

松本昌成（公明党市議団）

問 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進の取り組みは

答 名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会に設立された誘客部会の具体的な活動内容を伺う。

答 協議会の策定した新たな実施計画では「利用



名鉄西尾・蒲郡線

促進+誘客推進」のスローガンを掲げて誘客部会を設立した。部会では、地域資源を掘り起こし、沿線に店舗や事業所等を持つ事業者と協働して商品化を進める。また、「にしがま線」ブランドにより沿線地域のイメージアップを図り、ツアー企画等への活用を促す。

問 第二期地域福祉計画での地区社協の拡大は

答 第二期計画では、蒲郡市社会福祉協議会が主